

禅の墨蹟(恭真書)



一筆龍です。仏法を守る龍はお寺の彫刻や禅画に見られます。修行者の象徴として用いたり、火事を防ぐ火伏せ龍としても登場します。中国のことわざにある亢龍有悔(こうりゆううくいあり)は、天に昇りつめた龍には悔いがくる。盛んなものは衰える意味です。これを書いた紙がはじめは白くても古びていくように、望みと移ろいは背中合わせです。勢いよく昇りつめたものの下りに後悔する龍、しかし、雨の日に見える龍が天に昇っていく姿は有難いものです。

*今号より三男恭真の書と解説を掲載します。誰でも簡単に書けるものではありません。「書とは人なり」で、中々赴きのある書を描きます。

こども禅の集い

期日 7月27日~28日
会場 羽黒 徳岩寺
対象 小学生 50名



*第17教区曹洞宗寺院主催にて毎年開催しています。坐禅、写経、読経、食事作法、レクリエーション他。
*生活が乱れがちな夏休み、静かなお寺に泊まって身と心を整える修行を体験しましょう。

□梅花だより

▼梅花流創立六十五周年

記念奉詠大会

日時 五月二十三日~二十四日
会場 大本山永平寺

二十三日奉詠。奉詠曲は、「大本山永平寺第一番御詠歌(溪声)」、翌日、福井サンatoriumにて開会式及びアトラクション(南こうせつ氏による新曲発表)。

▼十七教区特派師範講習会

期日 六月五日 午前九時
会場 東牧寺

▼宗務所検定会

期日 七月二十五日
会場 阿賀野市亀田屋

*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬う(ごころ)を学ぶことができます。講員を募集中です。

□常勝寺結婚式

新発田市下中・常勝寺様では、五月六日副住職栗橋一徳師の華燭の典を挙行される。おめでとうございます。

仏事の知識

故人の遺影は仏壇に必要なか？

「お仏壇に亡くなった人の写真を飾っておくと連れていかれる、故人の魂がこの世に引き止められて成仏できない」という人がいます。「遺影を飾ってはいけない」ということには何の根拠もないし、迷信にすぎません。今まで一緒にいてくれた愛する人、ともに生活してきた家族、おじいちゃん、おばあちゃん等、遺影を飾ることは亡き人をいつまでも忘れないためにも必要です。「あなたがいてくれたからこそ今の自分があります、いつも見守っていてください」と遺影に語りかける、「亡くなられた人たちの分もしっかり生きていきますよ」と遺影に誓う。要は故人を思う気持ちが大切ですし、遺影を飾っても差し支えはありません。

仏事の知識
↓QRコード



●曹洞宗公式ホームページ

<http://www.sotozen-net.or.jp/>

●曹洞宗禅ナビ(寺院ポータルサイト)

<http://www.sotozen-navi.com/>